

植原 泰議員
市民と共に

早期発見・早期治療のためにも乳がん検診の受診率向上を

Q 和歌山県紀の川市では、平成20年にピンクリボンキャンペーン推進本部を設立し、全市的に積極的な啓発活動に取り組み、乳がん検診の受診率を向上させている。30歳代での発症率が高いことも考えると、さらなる周知活動に取り組み、受診率の向上に努めてはどうか。

A 現在、個人通知による乳がん検診の受診勧奨を行うとともに、市広報、ホームページへの掲載、講演会の開催により、周知啓発を行っています。さらに、3歳児等の乳幼児健診に同伴する母親に乳がん検診の説明を行うなど、機会を捉えて啓発活動に努めています。受診率は低迷しているのが現状です。今後、受診率向上に向けて、周知啓発に努めていきます。(健康福祉部長)

**問い合わせ事例を活用し
ごみ分別ルールの周知徹底を図っては**

Q 市民からのごみの分別方法の問い合わせに、同様の疑問が寄せられることが多い。ごみの分別方法を掲載した冊子が数年後に更新されるまでの間は、問い合わせ事例集を市広報等とともに配布することで、ごみ分別方法の周知が図れると考えるが。

A ごみの分別方法の周知については、ごみの区分と出し方の冊子及びイラスト付ポスターを5年ごとに各家庭に配布しています。問い合わせの多い内容や新たな事案対応には、事例集の配布が有効な啓発方法の一つであることから、坂出市地区衛生組織連合会の意見も拝聴しながら、事例集の作成や周知の方法を検討していきます。(市民生活部長)



質問の項目
・マンモグラフィ検査と超音波検査の併用による乳がん発見率の向上について
・ごみ収集の運営改善について
・市内在住の外国人へのごみ出しルールの周知徹底について

斉藤 義明議員
市民の声

平成21年度の事業収支シミュレーションと比較して現在の市立病院の経営状況は

Q 新市立病院の建設に係る借入金の実績は、坂出市立病院基本構想・基本計画(以下、基本構想・基本計画)と比べて増加しているが、余剰資金が借入金残高を上回るのが当初計画よりも6年前倒しとなる要因は。

A 平成21年度の基本構想・基本計画における事業収支シミュレーションにおいて、平成26年度の開院までの間、平成21年度当初予算を据え置き、5年間の純利益及び資金収益における資金の減少を見込むとともに、借入金金利についても一定の数字を予測していました。

しかし、実際には、過去5年間の純利益、資金収支における資金がともに増加し、借入金金利についても低金利で借り入れられたことなどが要因であると考えられます。

(市立病院 事務局長)



「最上位の方針」策定にふさわしく十分期間を設けたパブリックコメントを実施すべきだったのでは

Q 坂出市の将来のあるべき姿を目標したまちづくり基本構想のパブリックコメントが、通常1か月かけて市民の声を聞くが、18日間となっていたのはなぜか。

A 人口ビジョン及び総合戦略の策定期間を県内他市町の動向等を勘案し平成27年10月に前倒した結果、まちづくり基本構想の策定作業に若干の遅れが生じ、その結果、やむを得ず期間を短縮して実施したものです。(総務部長)

Q 市の最上位の方針にもかかわらず、行政の都合で短くするというのは、市民本位の考え方は異なるのではないか。

A 新たな行政需要への適切な対応など、地方公共団体の業務量が増加の一途をたどる中、総合戦略等の策定期間が重なることで事務作業に遅れが生じ、市民の皆様にご迷惑をおかけしたところ。です。(総務部長)

質問の項目
・坂出創生実行に向けての市長の考えについて
・財政健全化について
・先進地事例に対する教育長の考えについて